

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

福島県 西郷村

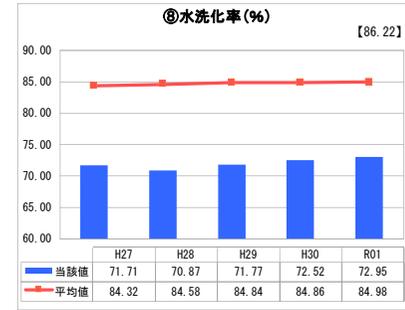
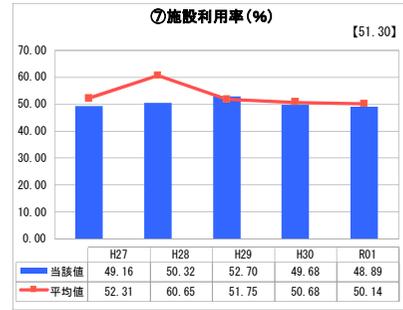
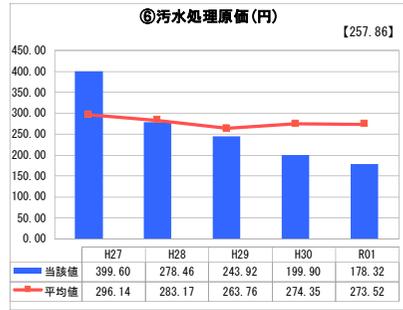
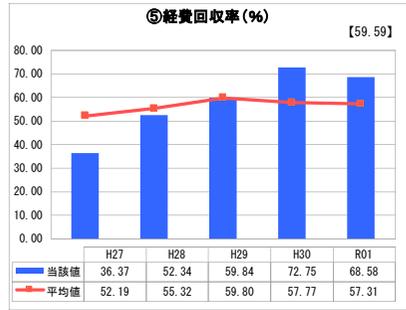
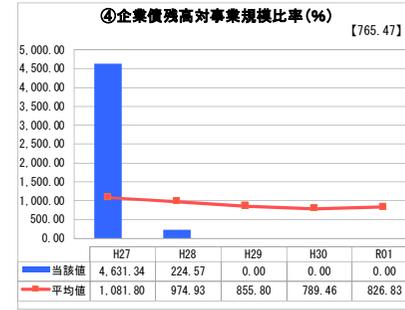
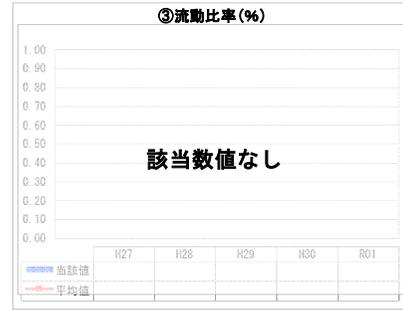
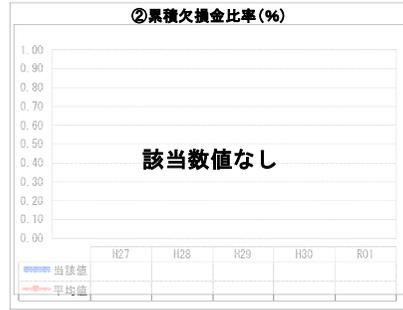
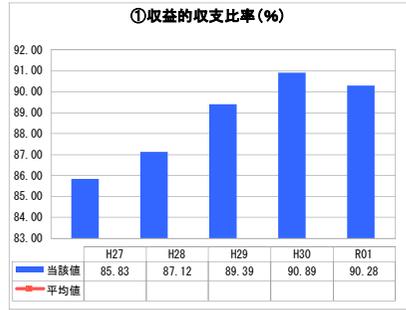
| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用      | 下水道事業       | 農業集落排水 | F2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円) |
| -         | 該当数値なし      | 15.48  | 90.09  | 2,750                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 20,291     | 192.06                   | 105.65                        |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 3,120      | 5.22                     | 597.70                        |

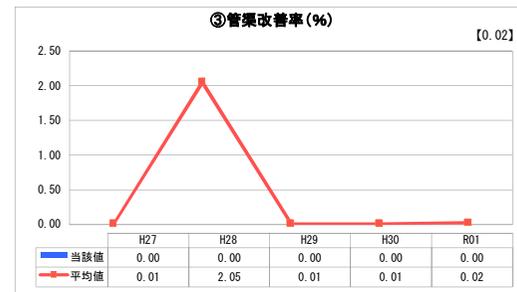
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率はH27年度より80%を超えており、やや上昇傾向にある。⑤経費回収率については平成30年度は70%を超えたものの今年度は減少に転じてはいるが⑥汚水処理原価も昨年度より更に抑えられており、徐々に経営状況が改善されているように見える。  
継続的に経営改善化を図るためには、接続率の向上と維持管理費の抑制が喫緊の課題であり、接続促進活動等をさらに積極的に進めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③管渠改善率に関しては、東日本大震災に伴う突発的なものを除き例年ほぼ0%である。  
H29年度に最適整備構想および経営戦略を策定しており、それらの計画に添って施設の修繕、改修等を行い、費用の平準化を図っていきたい。

### 全体総括

数値の上では経営状況が改善されているように見えるが、実態としては依然として芳しくない状況といえる。  
現状はまだ管渠の更新へ着手していないが、今後老朽化対策を行っていくための財源を確保するためにも、経営改善化を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。